

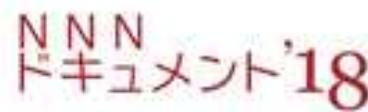
テレビの災害報道と 切迫性・わかりやすさ

2018年10月24日

住民自らの行動に結びつく

水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有PJ

日本テレビ 谷原和憲



テレビの災害報道

- 速報メディアだから
→ 被災地の「生命を守る」
- 多くの人を使うメディアだから
→ 被災地の「生活を守る」
- 地震多発国ニッポンだから
→ 次に備え「知識の共有化」

「生命を守る」 地震津波情報



津波警報・注意報

緊急地震速報



“生活震災” 進化するL字



熊本に学ぶ 内より外 なら...

車中泊での注意！！

震災で避難所にいる方も多いと思いますが、一方で、車内で過ごしている方もいると思います。車内で過ごしていると、ずっと座ったままになり、エコノミー症候群にかかってしまう人もいます。

エコノミークラス症候群が起きる仕組み



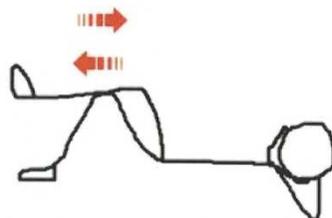
エコノミー症候群は、時には命の危険もある病気です。今回は、エコノミー症候群を回避する方法を紹介します。

エコノミー症候群とは

長い間、座ったままの姿勢で足を動かさないと、足の静脈に血の固まりができてしまいます。この血の固まりが肺の方に流れていき、詰まってしまうと、呼吸困難や胸痛に至ることもあり、死ぬこともある危ない病気です。

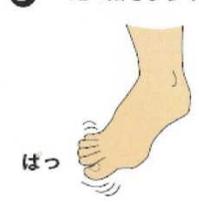
エコノミー症候群の回避法...

第一に足の筋肉をよく動かすこと！！



車中・避難所で行えるエコノミークラス症候群の予防対策

- 1 つま先を引き上げる
- 2 足の指でグーをつくる
- 3 足の指をひらく



- ※ 排せつは我慢しない。水分補給（イオン飲料の摂取）
- ※ 長めの靴下着用（ストッキング2枚重ねも可）
- ※ 睡眠薬、飲酒、喫煙、コーヒーなどでリスクが高くなります。できるだけ控えてください。

- 2004新潟中越地震からの教訓
- “震度7”翌日からテレビでは「生命を守る呼びかけ」

← 6日後には避難所でも...

災害発生！ テレビに出来ること

テレビの長所を活かして...

“早く伝える”

“不特定多数に同時に伝える”

“映像と音声でリアルに伝える”



最優先は “生命を守る”

東日本大震災ならば「津波優先」

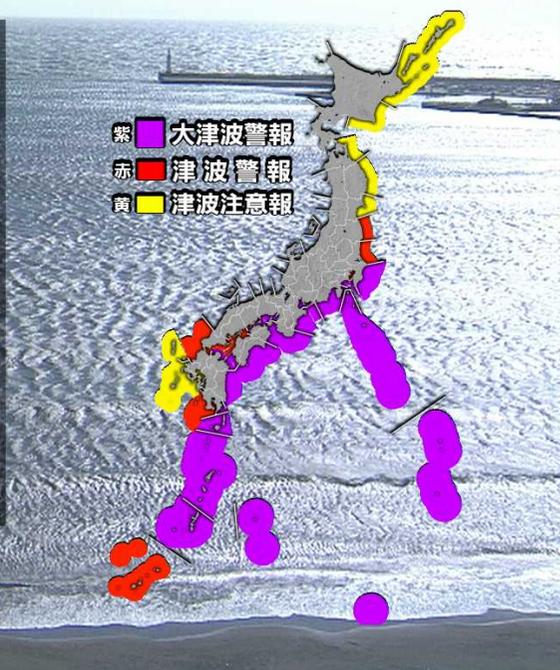
「津波優先」デモ画面

大津波警報：小笠原諸島
予想：午後3時30分 巨大津波

おおつなみ
大津波! にげる!

津波の予想時刻・高さ 午後3時00分現在

鹿児島西部	第1波到達	巨大
沖縄本島地方	到達中	巨大
茨城県	11日午後3:10	巨大
青森太平洋沿岸	11日午後3:20	高い
北海道オホーツク海	11日午後3:20	



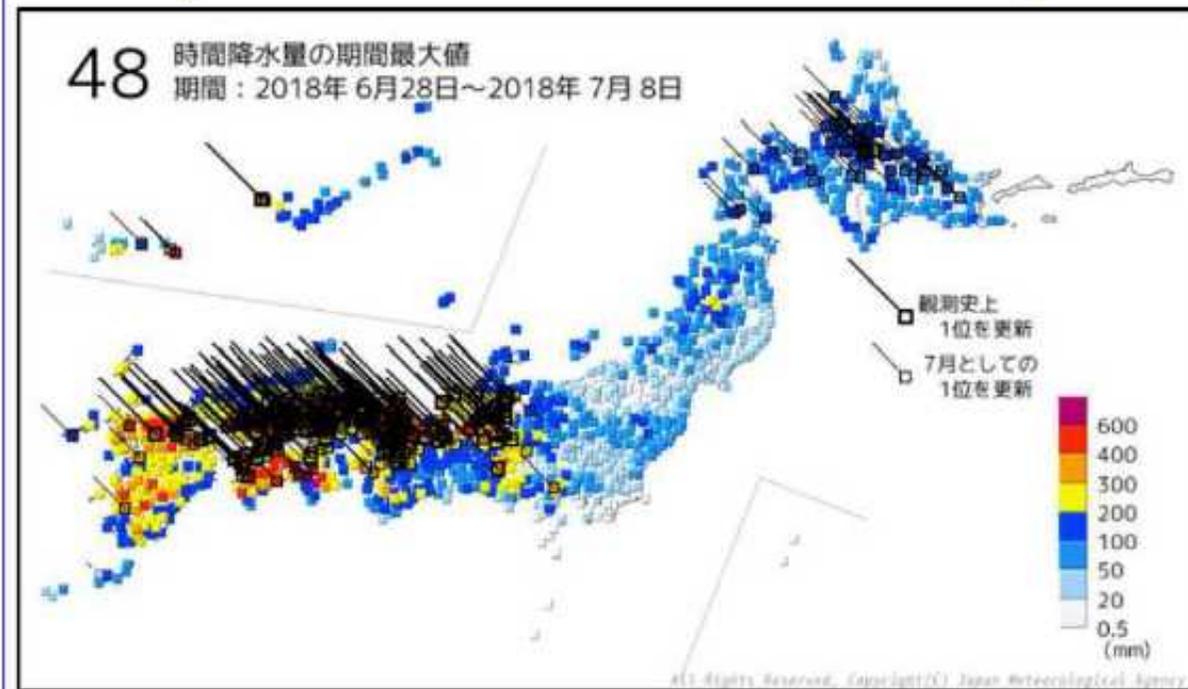
紫 ■ 大津波警報
赤 ■ 津波警報
黄 ■ 津波注意報

「津波優先」呼びかけ

- 避難してください
 - 命を守るために、
いますぐ逃げてください
- 立ち止まったりしないでください
- 引き返したりしないでください
 - ← 震災の“教訓”を活かす

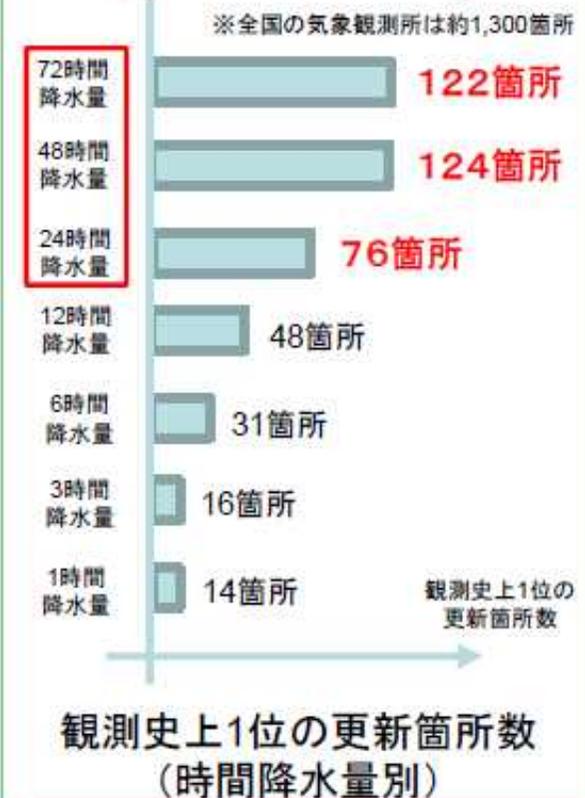
2018西日本豪雨

広い範囲で記録的な大雨



48時間降水量の期間最大値(期間2018年6月28日～7月8日)

長期間の大雨



長く、ダラダラ降った豪雨

呉市安浦町市原地区に学ぶ



ここで“生命を守る”には...

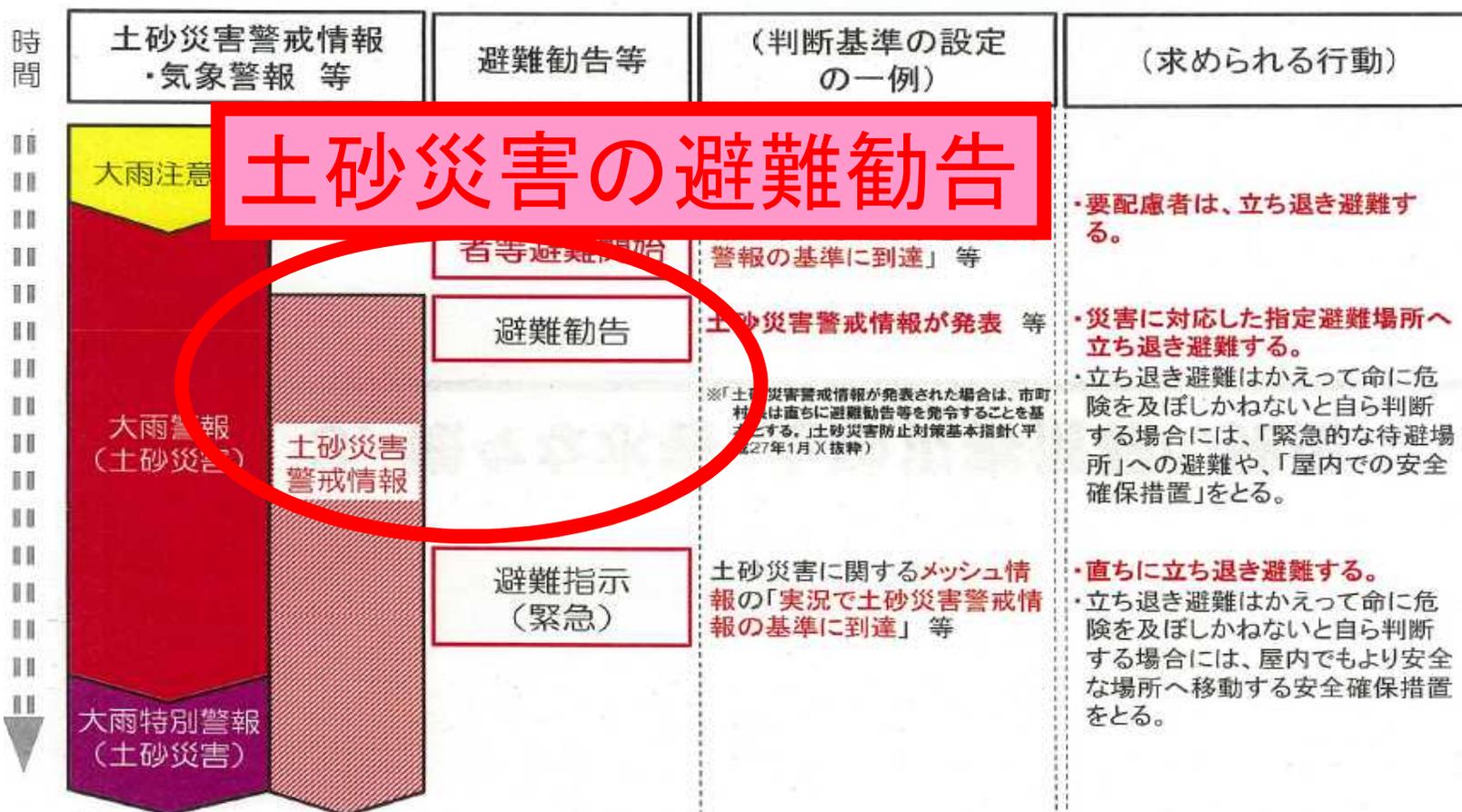


起き出してからでは
逃げようがない！



「ひとまとめ」 シンプルに！

土砂災害警戒情報の警戒避難体制上



土砂災害の避難勧告

※避難勧告等の判断基準設定の一例は、避難勧告等に関するガイドライン②(発令基準・防災体制編)(内閣府(防災担当):平成29年1月)を基に作成

広島・矢野東 梅河団地

■土石流警報装置(ワイヤーセンサー)

土石流がワイヤーを切断した際に発生する信号を検知し、下流に設置された警報装置がサイレンと回転灯などで土石流の発生を知らせます。

切断されると
警報機が作動します



ワイヤーセンサー(神長南川)



警報装置(神長南川)



土砂災害から “生命を守る”

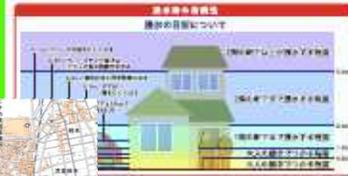
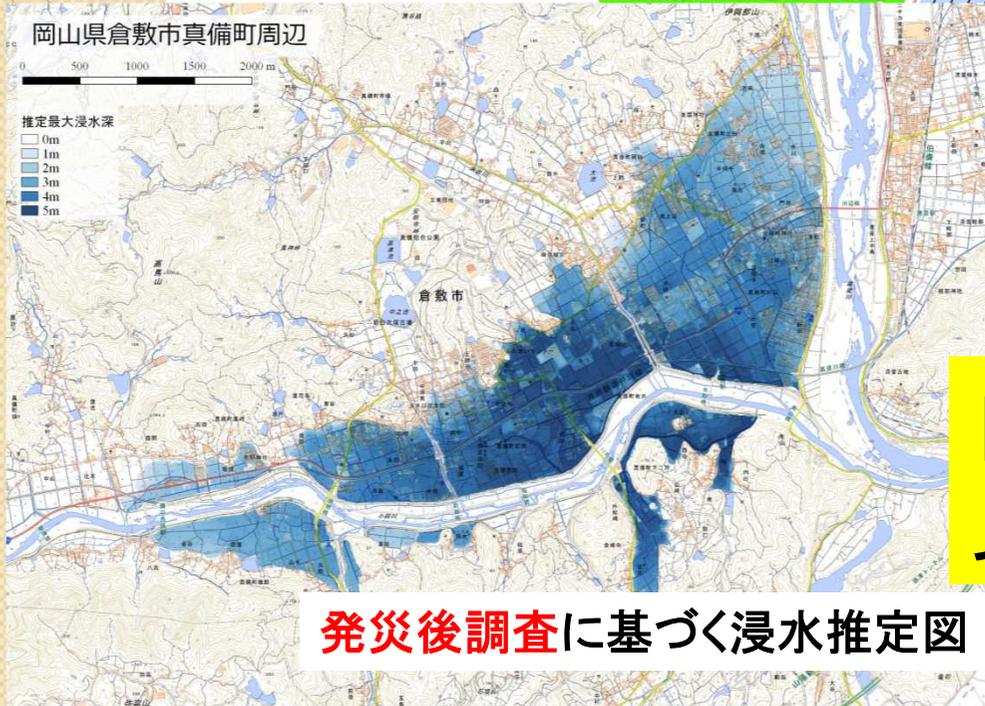
- 起きる前に逃げるしかない
 - “切迫性” はわかりやすいか？
 - ⇒ 「土砂災害の避難〇〇」
 - ⇒最後の砦 「ワイヤーセンサー」
- 「早めの避難」と言うのは簡単だが...
 - “逃げやすい場所” はあるのか？
 - ⇒津波避難ビルに学ぶ！

川の状況をどう確認するか？



「ハザードマップ通り」でも...

倉敷市 (平成29年作成)
洪水・土砂災害



重要事項：土砂災害ハザードマップについて

このマップは、洪水・土砂災害の被害を予測するに役立つ情報提供を目的としています。

【重要事項】 最新の情報に基づき作成されています。【土砂災害ハザードマップ】 土砂災害ハザードマップは、土砂災害の発生を予測するに役立つ情報提供を目的としています。【土砂災害ハザードマップ】 土砂災害ハザードマップは、土砂災害の発生を予測するに役立つ情報提供を目的としています。

土砂災害ハザードマップの種類	土砂災害ハザードマップの範囲
土砂災害ハザードマップ(高)	土砂災害ハザードマップ(高)の範囲
土砂災害ハザードマップ(中)	土砂災害ハザードマップ(中)の範囲
土砂災害ハザードマップ(低)	土砂災害ハザードマップ(低)の範囲

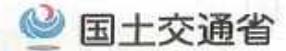
土砂災害ハザードマップの範囲は、土砂災害ハザードマップの範囲に基づいて決定されています。

自宅のハザードマップ
見るきっかけは？

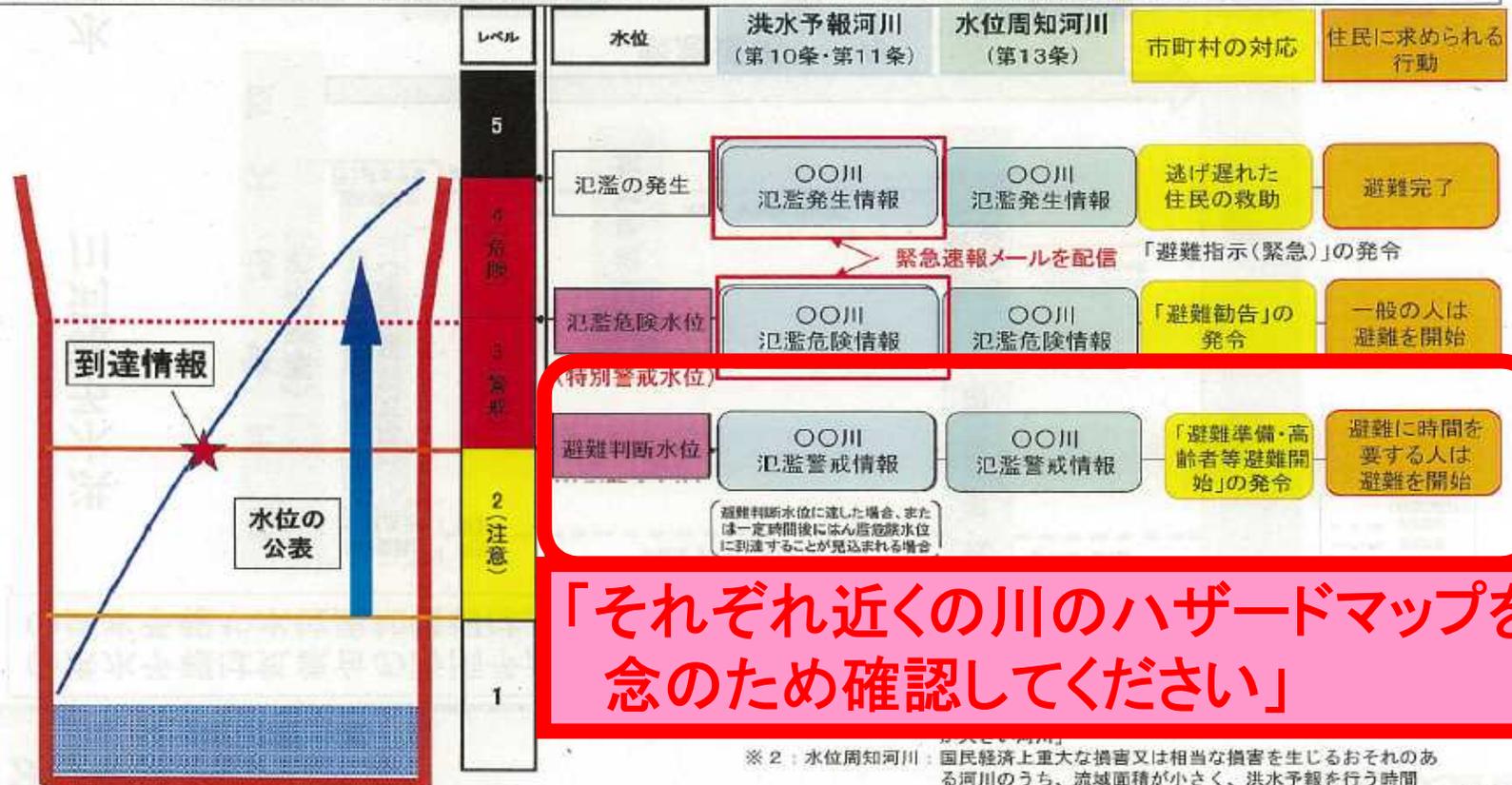
前にも伝えたけど...“旬”にも伝える必要！

「ハザードマップ」 きっかけは？

洪水情報のトリガーとなる水位情報(洪水予報河川、水位周知河川)



洪水予報河川※¹では、観測された河川水位及び洪水予測による河川水位に応じて4種類の洪水予報を発令。
 水位周知河川※²では、観測された河川水位に応じて4種類の水位情報を発表。



「それぞれ近くの川のハザードマップを念のため確認してください」

※2：水位周知河川：国民経済上重大な損害又は相当な損害を生じるおそれのある河川のうち、流域面積が小さく、洪水予報を行う時間的余裕がない河川

河川災害から “生命を守る”

- 起きる前に逃げるしかない
 - “切迫性” はわかりやすいか？
 - ⇒ 「**知りたい実況**」を丁寧に
 - ⇒ 「**見たことない水位**」の説得力

- 「予測してた」と言うけれど
 - “**こころ一番**”に役に立つためには...
 - ⇒ “**お手元マップ**” 化の工夫

“切迫性”を伝えるには...

- 発信側) 「避難第一」になっているか？
事象情報と行動指示 両方必要？
- テレビ) “みんな同じ” → 得意
“細く分ける” → ちょっと苦手
“人によって” → 大の苦手
- 視聴者) 本音は「避難なんてイヤ！」でも
「仕方ない」と自己説得する術は？